

放送日 平成29年1月5日(木)
担当者 水道部業務課 主査 松岡 則行

新年あけまして、おめでとうございます。業務課料金担当の松岡です。皆様は年末年始どのように過ごされましたか。

今年は、新庁舎完成それに伴う引っ越しと大きなイベントがある年です。それに向けて準備が進められているところですが、私達の担当している水道料金でも、大変大きな事業があります。

それは、今年の8月から水道料金分野の包括的な民間委託を実施することです。外部委員を含めたプロポーザル委員会を設置し、公募型のプロポーザルにより受注者を選定する方式で、4月には契約が締結できるよう進めております。

検針・収納などの包括的な委託は、本州ではかなり前から行われていましたが、北海道内では、ここ数年で取り組む事業者が、少しずつ増えてきた状況です。

ただ今回の委託で特徴的な事は、一般的な検針・収納の委託だけではなく、システムも含めて発注するという事です。システムの構築から電算処理までというのは、北海道では、あまり例がないと思います。

この委託により効率的な業務の遂行と、一層の住民サービスの向上が図られるものと考えています。

最後になりますが、料金担当からのお願いです。

これからの季節、非常に寒さが厳しくなります。

水道の凍結にはくれぐれも、ご注意くださいよう、職員だけではなく、ご来庁されているお客様にもお願いいたします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年1月6日（金）

担当者 水道部水道施設課 主査 野尻 敬

おはようございます。水道部水道施設課工事担当主査の野尻です。

私の主な業務は、水道施設全般の整備・更新計画策定と、水を一時的に貯めておくための配水池や、一般的に水道本管といわれる配水管の新設・更新など修繕以外の工事全般を担当しています。

水道施設は耐用年数が長く、一度整備すると長く使用する事になるため、長期の水需要予測に基づいて整備されます。以前は人口は増えるものであり、水需要も当然増えるものとされてきました。

しかし、皆さんもご存知の通り、これからの人口は減少していくと予測されています。当市の水道施設の多くを占める北広島団地の施設が更新時期を迎えますが、短期間に造成整備されたため、更新需用もまとまって発生します。この事に対して重要度や劣化具合などを考慮して更新費用の平準化をするためにアセットマネジメントという手法を用いて更新計画を策定中であります。

この間にも施設の老朽化は進み、漏水・断水の可能性は高まる訳ではありますが、施設の更新計画と併せて災害時の備えとして、非常時における水の相互融通を図る為に札幌市との緊急時連絡整備を計画しております。全市を賄える量ではありませんが、異なる水源を持つもの同士で連携することで少しでも市民の安心な暮らしに貢献できるものと期待しています。

高いと言われる北広島市の水道料金ですが、子供達に過度な負担を残さないようダウンサイジングや超寿命化を考慮しつつコストの掛からない整備を行ってまいりたいと考えております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年1月10日（火）
担当者 水道部水道施設課 主査 橋本 義公

おはようございます。水道施設課管理担当主査の橋本です。管理担当の業務内容の説明の前に、北広島市の水道の歴史について少しお話ししたいと思います。

今から59年前の昭和32年に西の里（楸山地区）に住んでいる住民の皆さんが主体となり、地下水を水源として、一日260 m³の水量で水の供給を始めたのが、水道の発祥であると聞いております。その西の里地区の開拓専用水道を昭和38年に当時の広島村が譲り受けたのが公営水道事業の始まりとなります。

そして、昭和40年代の急激な人口増への対応として、将来にわたる豊かな水を確保するため、昭和49年に、江別市、千歳市、恵庭市、及び北広島市（当時は広島町）の共同事業として、北海道開発局が建設を進めていた漁川ダムに水道水利を確保し、水道施設への重複投資を避けるなど、水道事業の効率的経営を図る見地から、石狩東部広域水道企業団が北海道を含め5団体の組織を持って設立しました。市の水道水の全量を漁川浄水場から供給を受け始めて35年が経過し、昨年7月からは新たな水源となる千歳川浄水場からの供給も加わりました。

水道水を供給するには、河川や井戸等で水道水利を確保し、浄水場で浄水した水を「配水池」と言う貯め池に送ります。北広島市にはその配水池が、大曲地区、輪厚地区、北広島団地、東部地区、西の里地区に各々7箇所に設けられております。その配水池から水道本管を敷設し、そして各々の家庭の蛇口まで、水道メーターを経由して給水されております。

管理担当の業務内容は、市民の皆さんと接する機会はあまりございませんが、「いつ蛇口を開いても安心して安全な水を供給するため」に、市内にある配水池や水道本管約437 km等の水道施設の維持管理を行っております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年1月11日（水）
担当者 水道部水道施設課 主査 吉岡 亮

おはようございます。水道施設課給水担当主査の吉岡です。

給水担当の主な業務に水道メーターの交換があります。水道メーターは水道料金を算出するためのとても重要なものです。水道メーターは、計量法により8年ごとに交換しなければならないことになっており、北広島市では年間2千個から3千数百個ほど交換しています。交換作業の進捗状況を見ながらメーターの発注も行っています。なるべくメーターの在庫が残らないように神経を尖らせています。

水道メーターは地面に埋設されているメーター本体と建物の壁等に設置されている隔測メーターの2つが必ず設置されています。水道メーター本体を収納しているボックスは最近のものですと伸縮式となっていていますが、昔のものは、プラスチック製やコンクリート製の固定式となっています。伸縮式のボックスはボックスの回りを掘らなくてもメーターを交換することができますが、固定式のボックスは、ボックスの回りを掘らなければメーターを交換することができません。まれに、メーターボックスの上に物を置いてあることがありますが、そういった場合はメーターの交換に支障をきたし、われわれも大変苦慮しております。皆さんはメーターボックスの上やまわりには物を置かないようにお願いします。

隔測メーターには水道メーターの交換時期のシールが貼られています。皆さんも機会があったら自宅の隔測メーターを覗いてみて次の交換がいつ来るのか確認されてはいかがでしょうか。もし、そのとき、メーターボックスの上や回りに物等が置いてあれば移動をお願いします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年1月12日(木)
担当者 水道部下水道課 主査 木村 公也

おはようございます。下水道課木村です。

下水道事業の会計は、一般会計からは区分され、特別会計により経理されておりますが、私は下水道事業の予算・決算、財政計画、起債管理など主に下水道事業の会計管理に関する事務を担当しています。

下水道は、電気、ガスや水道と同様、現代人の日常生活や企業活動において欠かすことのできない施設です。北広島市の下水道処理区域内の普及率は99.9%であり、ほとんどの市民に下水道が使われています。

そして、下水道事業は、下水道を利用する方にお支払いいただく下水道使用料によって経営が維持されています。また、将来的には、人口の減少に伴う使用料収入の減少により、経営の維持が難しくなることが見込まれていることから、下水道の仕組みや下水道使用料などについて、市民の皆様によく理解いただいたうえで、事業を進めていくことが大切であると考えています。

このため、私は前例にとらわれず、下水道事業の概要や財政計画などについて、公表を前提とし、なるべくわかりやすい形式に改め情報を発信するなどの取組を行っており、このような取組を通して、微力ではありますが、市民からの信頼の向上を目指しています。

話は変わりますが、下水道課は、非常に職員同士の仲が良く、業務における一体感や連携がとてもスムーズであり、市内部の事務はもとより、苦情処理など緊急時の対応において、高い効果が発揮されていると感じています。これは、働きやすい職場づくりに常に配慮いただいている、私の同期であり、上司である藤縄課長のおかげであります。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年1月13日（金）
担当者 水道部下水道課 主査 人見 桂史

おはようございます。下水道課処理施設担当の人見です。

下水道課の処理施設担当の主な仕事は、下水道事業計画の策定と処理場及びポンプ場にある土木、建築、機械、電気など施設の更新計画の策定とその更新事業の実施であります。北広島下水処理センターは、道営北広島団地の造成に合わせて整備され昭和47年から稼動しており、最も古い施設では後数年で半世紀が経とうとしている施設もあります。老朽化した施設を限られた予算の中で優先順位を付け、長寿命化計画を策定し、ライフラインとしての機能を止めることなく、更新事業を行っていくことが現在の最重要使命と考えています。

さて、話は変わりますが、市内にお住いの皆さんは、生ごみを分別していますか？下水処理センターでは、既存の下水道汚泥処理施設に生ごみを混ぜて発酵させ、メタンガスを生成し、それを全量下水処理センター内で使用することで、元々下水処理センター内で使用している重油使用量の削減につながっております。生ごみは体内で一度消化した下水道由来の汚泥よりもメタンガスの生成効率が良いため重油使用量削減に大きく寄与しております。

また、生ごみを分別することにより、クリーンセンターの延命化が図られ、さらには発酵後の乾燥汚泥を農地に還元することにより作物の生育が促進されるなど、生ごみを分別することは、一石二鳥ならず一石三鳥以上の効果があると考えています。言わば「生ごみは金也です。」どうぞ皆さん生ゴミの分別にご協力をお願いします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年1月16日（月）
担当者 水道部下水道課 主査 藤本 悟

おはようございます。下水道課管理担当主査の藤本です。

管理担当の主な業務は、雨水・汚水管の布設工事、下水道施設や用地の維持管理、排水設備の指導、事業場排水の水質に関する指導、水洗化の普及促進、雨水調整池の維持管理などを行っております。近年は異常気象が多くなってきており、大雨時には昼夜を問わず、スタッフ総出で対応する機会が増えております。下水道管については、布設後40年以上経過した管も増え、老朽化が進んでいることから、平成26年度に管渠の長寿命化計画を策定し、更新事業を順次実施しています。下水道施設についても管渠同様、経年劣化などで各戸に設置してある公共汚水柵に関するトラブルが増えております。

特に多い例として、庭先に植えてある樹木の根により管や汚水柵が閉塞してしまう事があります。入居当初は小さな樹木でも数十年の年月をかけて成長し、その根が汚水柵の中に入り込んで、下水を詰まらせる事例が近年大変増えております。下水詰まりの連絡を受け、現地を確認した際に管理区分の関係もありますが、急を要する場合には職員が直営で除去作業を行う事もあります。

その他、下水が詰まる要因に近年普及している節水型トイレによるものがあります。トイレ自体に問題はないのですが、トイレットペーパーを多く使用した為に節水型トイレから流される少量の水では溶けにくく、管や汚水柵の中で詰まる事例も増えております。下水詰まりなどで連絡を頂いた市民の方には、再度詰まらないように、その都度樹木の管理方法や節水型トイレの場合の使用法として、使用後に2回流す事で予防になるなど事例に応じて、わかりやすく説明を行っております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年1月17日（火）

担当者 水道部下水処理センター 主査 鎌田 憲昭

おはようございます。水道部下水処理センター複合処理担当主査の鎌田です。

本日は、下水処理センターで作られる乾燥汚泥肥料についてお話しします。

下水処理センターでは、全国で最初の事例ともいえる生ごみ、し尿・浄化槽汚泥及び下水汚泥を混合処理しメタンガスを取り出し、そのガスを重油の代替燃料として施設内で利用し、CO₂の削減に努めています。ガスを取り出した後の消化汚泥は、脱水・乾燥し、乾燥汚泥肥料として年間約700t生産され、その約9割を市内農家に、残りを市民の方々と公共緑地にお使い頂いております。一般市民向けは毎年3月に予約を受け、4月に9kg入りを1袋100円で、1世帯当り10袋を上限に販売を行い、昨年は7,628袋の販売実績となりました。

肥料成分としては、窒素とリン酸を5%程度含み、カリウムは0.5%未満と少なめですが白菜、キャベツ、ほうれん草などの葉物野菜のほか、トマト、イチゴ、トウモロコシなどの実物野菜、そして、芝生や花壇にもそのままお使い頂いております。また、カリウムの必要な大根、ジャガイモなどの根物野菜には、市販の草木灰などと混ぜて使用するとカリウムを補うことができます。ぜひ職員の方々も家庭菜園などにお使い下さい。

最後になりますが、地域に分散するバイオマス、すなわち、下水・生ごみ・し尿等を効率よく収集し、エネルギーの回収と利用、消化汚泥の緑農地還元を継続することは、地球温暖化防止や循環型社会形成を推進し、持続可能な下水道事業を進める上で重要な取り組みと考えています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年1月18日(水)
担当者 水道部下水処理センター 主査 森田 寿雄

おはようございます。下水処理センター施設担当主査の森田です。

下水処理センターは、汚い・臭い・危険と言うイメージを持っている人が多いと思います。みなさんが想像している通り汚い・臭い・危険な施設ですが、もし下水処理センターが無かった場合を考えてみて下さい。家庭や工場から出る汚水はそのまま河川へ流れて行き、その結果、河川や海は汚れ、生き物が住めない環境となるでしょう。下水処理センターは、みなさんの清潔で快適な生活環境の確保や、河川などの水質保全のため、欠くことの出来ない施設です。

下水処理センターには、全国に誇れる設備が有ります。平成23年度から北広島市内の生ごみ、平成25年度から北広島市・長沼町・南幌町・由仁町のし尿・浄化槽汚泥の受入を開始しております。既存の下水処理施設に家庭からの生ごみを受入れ、下水汚泥との混合処理を実施したのは、全国で1番目の取り組みとなっています。毎年多くの方々が視察に来られ、感心して帰っていきます。

下水処理センターは、昭和47年2月北広島団地の供用開始と共に運転を開始し、45年経過しております。順次ポンプ設備などの機器更新が行われてきておりますが、古くなった設備も多く残っています。

今有る設備を利用し、常に良好な運転・管理を行わなければなりません。今後コスト削減を意識し、効率的な運転を継続するよう努めてまいります。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年1月19日(木)

担当者 水道部下水処理センター 主査 横尾 昌幸

おはようございます。下水処理センターの横尾です。

下水処理センターの話が昨日まで続きましたので、今日は今までの経験を元に話をさせていただきます。

私が以前、道路維持の担当でパトロールに出た時に、歩道が両側に在る道路にもかかわらず、車道を歩いている小学生を見つけました。後ろから来る小学生も車道を歩いてきます。道の反対側を見るとベビーカーを押しているお母さんもやはり車道を歩いていました。

いくら車の交通量が少ない道路としても、歩道が使われず、車道を人が歩いているというのは、私の目には異様に映りましたが、皆さんはこの状況をどう思いますか？

多分この道路を造成した当時は街中の緑化を重点に造ったのではないかと思います。幅が2mほどの歩道には街路樹が連続しており、その植樹柵も歩道幅の半分以上を占めていたので、歩行者には利用しにくい構造だったのだと思います。それにしても、目的どおりに利用されていない施設、市民が安全に利用できていない施設と言うのは、いかがなものでしょうか。

自分の目で見て、そして感じたことは、市民や施設利用者の方も同じことを思い、感じているのではないかと思います。社会が求めるもの、住民のニーズと言うのは時代と共に変わることもあるので、世の中の変化に応じて、見直すことも必要ではないでしょうか。

さて、先ほどの歩道を歩行者が利用しやすいように、どのように対処したかは、皆さんのご想像のとおりです。

寒い日がこれからも続きますが、体に気をつけて、今日も一日、元気にがんばりましょう。

放送日 平成29年1月20日（金）
担当者 会計室契約課 主査 佐々木 正範

おはようございます。契約課主査の佐々木正範です。

月日が経つのは早いもので、まだまだ若者だと思っている私ですが、今年で勤続38年目となります。年ばかり食ってしまった感が否めないのですが、これを機に、法に基づく我々の仕事の根幹である日本国憲法をひもといてみると、第15条第2項に「すべての公務員は、全体の奉仕者であって、一部の奉仕者ではない」と定められています。これは、すべての公務員は国民全体の利益のためにあり、特定の団体や個人の利益のためではないということです。別な言い方をすれば、一般の会社がまずは自社の利益を追求するのに対して、公務員は住民全体の福祉の向上が目的であるということです。

以前、ある人が「私も公務員になりたかったよ」と言っていました。その理由は、親方日の丸だからかと思っていたらそれは違い、「公務員は色々な仕事ができていいなあ」とのことでした。確かに私自身も土木、上下水道、維持管理、税務、社会教育、介護保健などと実に様々な分野、業界の仕事に携わってきました。

このように本来、公務員の仕事は、高い理念を持った幅広くやりがいのある仕事です。とはいうものの、忙しさのあまり、目先の仕事をこなすのが精一杯で、疲れ果ててしまう場合もありますが、すばらしい仕事に携わっているのだと肝に銘じて、皆さん一緒に前進しましょう。

おっと失礼、職場の話をするのを忘れていました。

市の発注する工事や物品購入などの競争入札に参加するためには、事前に資格審査を受け、名簿に登録される必要があります。今、契約課では、平成29・30年度の名簿登録に向け、1月16日から2月15日までの1か月間、資格審査申請を受け付けています。通常業務をこなしながら、全部で約2,200件と見込まれる申請を日中に受け付け、夜に資格審査などの処理を行うという、かなりハードな状態が続いていますが、老若男女のメンバーで体と精神に鞭打ち、先ほど述べた理念のもと、遂行していきます。業者の方からの問い合わせなどがありましたら、契約課へご案内ください。

老若男女に限らず挨拶は、人間関係の基本です。例え疲れていても、気持ちの良い挨拶が、自分を含めた職場さらには市民に元気をもたらします。

さあ、今日も1日ポジティブに仕事をこなしましょう。

放送日 平成29年1月23日（月）
担当者 会計室会計課 主査 石黒 哲明

おはようございます。会計課の石黒です。

会計課では、税や手数料などの歳入の受け入れ、支出負担行為や支出命令書の審査、基金や支払資金の管理、決算の調整などを行っています。基本的な業務になりますが、いかなる地方自治体も避けて通ることのできない重要な業務になります。

発布した納付書や納税通知書は市への信頼のもと納付していただけますし、物品購入費や工事請負代金なども期限までに支払っていただくと信頼して請求書を発行していただいているものです。

さて、少し話は変わりますが、私が採用された昭和62年当時、「うちの職場は、窓口の対応が良いと言われることがある」と聞かされました。当時の私は、半信半疑でしたが、仕事をしていくうちに「窓口で親切にしてもらった」と言う声を少しずつ聞くようになりました。昨年からはじまったこのスピーチの中でも何人もの方がこのことについて触れていたかと思います。長きに渡り、市の対応に好感をもっている方がいるということは、大きな財産と言えます。

現在、市では移住・定住促進に向けてさまざまな施策に取り組んでいますが、こういった対応は、長く住んでもらう上でとても大切な条件だと思います。

しかし、冒頭でお話しました会計事務や、各種事務手続きなどで手違いなどがあると、いままで培ってきた信頼を一瞬にして失ってしまうことになりかねません。

春には新庁舎での業務が開始されます。気持ちを新たに、今一度振り返り、いつまでも市民から信頼される市役所でありたいものです。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年1月24日(火)
担当者 会計室会計課 主査 宮村 勇治

おはようございます。会計課主査の宮村です。

ところで、職員の皆さんは市民憲章を知っていますか。開基百年の昭和59年に制定されました。前章前段では、「わたしたちは、「青年よ大志をいだけ」の心を受けつぐ北広島市の市民です。わたしたちのまちは、広島県人らによって築かれ、北海道の寒地稲作をうみだした、誇りある伝統をもつまちです。」と書かれています。

明治期、日本各地からの移民によって始まった北海道の開拓。市民憲章にも広島県人らと「ら」が入っていることに私は着目しています。郷土史家の谷川文利の随想集「サイロのかおり」(1985年刊)の中で谷川が調査した結果、広島町は富山県出身者が一番多かったと記述されています。実際、北海道開拓移民は富山・石川・福井の北陸3県が一番多いのです。私は、この市民憲章にある日本全国から集まった人たちを称した「ら」に込められた敬意は非常に奥深いものであると考えています。

近年、地球温暖化による気候変動では北海道の気候も変化し、台風による災害も発生しています。東日本大震災以降日本列島は地震活動期に入ったと考えられ各地で地震災害も発生しており、天災への備えが必要です。一方、今日の超高齢化・人口減少社会の急速な進行は日本社会全体に多大な影響を与えていますが、私は特に財政的にますます困難な時代に向かって行くと考えています。

さて、市民憲章前章の後段には次のように記されています。「わたしたちは、いま歴史への新しい歩みを進めようとしているこのまちと、自分のくらしをしっかりとみつめ、自分に何ができるかを問いかけながらこの憲章を実践します。」と。以上で私のスピーチを終わります。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいなく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年1月25日(水)
担当者 議会事務局 主査 松本 政樹

おはようございます。議会事務局主査の松本政樹です。

議会事務局は、議会事務局長、議会事務局次長、主査、スタッフ2名及び非常勤職員の計6人で構成される部局です。事務局の主な業務としては、市長から提案される議案を審議するため、議長を中心とした議会運営や常任委員会などの議事に関することのほか、議長公務の調整や議員に関する庶務的なことを行っています。

議会は、3月、6月、9月、12月と年4回開会されます。来月は、新年度予算をはじめ、各種議案を審議する、平成29年第1回定例会が予定されており、この期間中は、事務局員総出で議会運営に取り組みます。

議会が終わると、市民に議会への関心を高めてもらうことを目的とする議会広報を作成するため、編集委員と事務局が力を合わせて編集作業に取り掛かります。2月1日には、昨年12月の定例会をお伝えする、議会だよりが発行されます。ぜひ、ご一読いただき、ご意見ご感想などお寄せいただけると、良くも悪くも励みになりますのでよろしくお願いいたします。

また、議会事務局の業務の特色として、行政視察の受け入れがあります。定例議会が終わると、全国の議会が全国各地の行政視察を行います。北広島市は、快速電車で新千歳空港から20分、札幌駅まで16分という好立地にあることから、行政視察の依頼が殺到します。今年度の視察受け入れの実績は、34議会、総勢278名の方々が当市を訪れました。

なお、視察の受け入れに当たっては、市のシティセールスとともに、常に、おもてなしの気持ちで対応するよう心がけております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年1月26日(金)
担当者 監査委員事務局 主査 稲川 勝

おはようございます。監査委員事務局主査の稲川です。

今日は、皆さんに是非読んでいただきたい本についてお話をしたいと思います。

失敗は会社の宝だ。どんなに優秀な社員でも失敗は必ずする。失敗したときは責任を追及するのはなく真の原因を追求せよ。会社の一番の財産は社員である。皆さんもこのような会社で働いてみたいと思いませんか。この会社はトヨタ自動車です。数十年前、当時の金額で数百億円の損失を出す大きな失敗がありました。その時、社長室に呼ばれた担当者が部屋に入るなり社長から言われた言葉は「金のことは気にするな。これは君の勉強代だ。それで、これからどうするの？」ただ、それだけだったそうであります。この担当者は、それまで以上に一生懸命に仕事に取り組み、その約20年後にはトヨタ自動車の社長になりました。トヨタ自動車には現在約6万人の社員がおり、毎年約80万件の業務改善提案があるそうです。上司に強制されることなく、自主的に何故こんなにも多くの改善提案が毎年出てくるのか、何故、トヨタ自動車の社員は高いモチベーションを維持し続けることができるのか、トヨタ自動車に関する本はたくさん出されていますが、どの本を読んでも、非常に参考になると思います。是非、読んでいただきたいと思います。

もう1冊、小さなお子さんがいる方に是非お勧めしたい本に「高校野球は親が9割」という本があります。高校・大学・社会人野球の有名な監督、日本ハムファイターズのスカウトの方が、有望選手をスカウトするときには選手のどこを見ているかという内容の本であります。野球の技術よりも、その選手が親からどういう教育・しつけがされているのか、また、親はどういう人間なのかを観て決めているというものであります。

皆さんのお子さんは、ご飯を食べるとき、ちゃんと茶碗を持って食べているでしょうか。茶碗を持っていても肘をテーブルに付けて食べたりはしていませんか。そういう子どもはいくら野球がうまくてもスカウトされないそうです。また、逆に自分の家族について話をするとき、父・母・兄・姉という言葉使いをする選手はそれだけで殆ど合格だそうであります。子どもの教育・しつけがきちんとされていない親は、モンスターペアレント若しくはそれに近い割合が非常に高く、その親のせいでチーム全体に悪影響を及ぼすことが近年は特に多いそうです。この本の最後は「親は保護者ではなく教育者である」という言葉で締めくくられております。是非読んでみてください。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年1月27日(金)
担当者 農業委員会 主査 石川 正人

おはようございます。農業委員会、農地振興担当主査の石川です。

北広島市の農業は明治17年に広島県人25戸103人が集団移住し、開拓の
鍬がおろされてからおよそ130年となります。

また、入植者「中山久蔵」が「赤毛種」と呼ばれる寒さに強い稲の試作に成功
し、開拓者に無償で配ったことから、寒地稲作発祥の地と言われております。

現在は、米、ダイコン、ニンジン、馬鈴薯、レタス、カボチャ、ブロッコリー
などが主な作物となっております。

一方で、農家戸数は減少の一途を辿り、昭和40年には約710戸ありましたが、昭和55年には約450戸、平成12年に約240戸、現在は都市化により
約110戸となっております。

また、農家の高齢化も進んでおり、平均年齢は60.8歳。後継者不足も悩みの
種となっております。

これらのことは、遊休農地の増加に繋がってきており、耕作放棄地は、全耕地
面積2,230haの内179筆101haに及び、遊休農地対策の重要性を痛感
し、取り組んでいるところであります。

また、新たに所得確保策への取り組みとして、大都市に近い恵まれた環境を活
かした直売所や、農家レストランなどのグリーンツーリズムの取り組みも始まっ
ており、今後の農業経営は、これまでの視点とは異なる大胆な展開も必要な時代
かと考えます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年1月30日（月）
担当者 教育部教育総務課 主査 高橋 猛博

おはようございます。教育委員会教育総務課施設担当の高橋です。

私の担当している業務は、市内14校の小中学校施設の大規模改造や、暖房機更新など、また少額修繕です。

大規模改造等は国の補助をいただき行うので、それに伴う計画・申請・実績報告・請求など事務手続きがあります。また、各学校からの修繕要望が毎日のように連絡があり多忙を極めております。

最近、建物の老朽化が著しい学校もあり計画どおりに運ばず苦慮しているところではあります。

教育委員会は2年目であり、今年度から主査になったばかりで、主任と主査との業務量の違いに戸惑うばかりですし、人が変わった時は予期せぬ出来事がおこり、今現在までで、暖房機の故障が5校もあって、その都度防災用のストーブを借りたり、予算を流用しストーブのレンタルをしたりで昨年末までは、始業時前の携帯への電話にはびくつく毎日を過ごしていました。まだまだ、半人前ですが、職員の皆様のご協力の元がんばっております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年1月31日(火)
担当者 教育部教育総務課 主査 花田 秀樹

おはようございます。教育総務課庶務担当主査の花田です。

教育総務課で私が担当している業務について紹介したいと思います。

庶務担当と聞くと何となくぼんやりとした印象があると思いますが、その中身は、たいへん業務の範囲が広く、教育委員会会議の開催や規則等の制定、教育委員会職員の人事に関すること、教育長の日程調整、幼稚園、小中学校、市内私立高校、教育関係団体への各種補助金、小中学校の教材や管理備品、学校放送設備の整備、各小中学校への予算配分及び経理事務、通学路に関すること、姉妹都市である東広島市との学校交流事業、教育部代表課としての集約業務などを担当しています。

また、今年度からは、昨年度までの企画担当との統合により、教育基本計画、推進計画や教育部の主要事業の進行管理、学校ICT環境整備などが加わり、いっそう守備範囲が広がるなか、私と主任1名、若手主事と新人職員の計4名で日々業務に取り組んでいます。

このように、市長部局でいいますと、企画課や秘書課、総務課、職員課、行政管理課などが担当している業務を教育委員会では庶務担当が所管しており、大変な部分もありますが、その分やりがいもある職場であります。

通常の業務では直接市民の方々との関わりが薄い部署ではありますが、常に納税者である市民の目線に立ち、将来を担う子ども達により良い学びの環境を提供するため、また、市の教育基本計画のテーマに位置付けられています「大志をいだき学ぶまち」の実現に向けて、その一助となるよう努めているところであります。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。